

# 留学報告書

2020 年 6 月

胡 緯華 (Hu, Weihua)

2018 年 9 月から Stanford 大学の Computer Science (CS) 学科の博士課程に在籍している胡緯華と申します。2020 年 6 月現在は、春学期が終わり、まもなく夏のインターンシップが始まる予定です。以下、ここ半年のご報告をさせていただきます。

## 1. Work From Home

ここ半年の一番の変化はやはり、COVID-19 に伴う生活の変化だと思います。3 月の半ばから外出禁止令が出てからは、すっかり Work From Home の生活になってしまいました。一日中家にこもっている生活が 3 ヶ月間続いて、授業やミーティングももちろん全てオンラインになりました。幸い、僕の専門分野は、コンピューターとインターネットがあれば研究ができてしまうので、研究の進捗にはあまり支障が出ませんでした。生活が単調になってしまって刺激が少なく感じてしまいました。休日の夜に、日本にいる旧友やラボメイト、Stanford の友達などと、いわゆる”Zoom 飲み”をすることが唯一の息抜きでしょうか。

今後のしばらく Work From Home が続きそうなので、自宅の仕事環境を充実化させる投資を試みました(左下写真)。Amazon で良さそうなモニター、スピーカー、キーボード諸々を買って、Work From Home の士気を高めているところです。また、Eat From Home の方も、San Francisco からの海鮮宅配サービスを使って、充実させています(右下写真)。



## 2. 研究

研究の面では、去年の 10 月からずっと取り組んでいたプロジェクトである Open Graph Benchmark (OGB)をついにリリースすることができました。<sup>1</sup> このプロジェクトは、グラフ機械学習

---

<sup>1</sup> **Weihua Hu**, Matthias Fey, Marinka Zitnik, Yuxiao Dong, Hongyu Ren, Bowen Liu, Michele Catasta, Jure Leskovec. Open Graph Benchmark: Datasets for Machine Learning on Graphs. Webpage: <https://ogb.stanford.edu/>

モデルの予測性能を評価するためのベンチマークデータセットを確立させるというものです。僕の今までの研究で一番の大作で、グラフ機械学習の分野では、ここ数年で最も影響力のある論文になるのではないかと期待しています。

このプロジェクトを遂行するには、その膨大な作業量をこなすだけでなく、チームメンバーを管理するリーダーシップが非常に鍵になりました。忙しいチームメンバーの士気を高めつつ、全体の進捗を管理するのは、非常に根気のいる作業でしたが、すごく良い経験になりました。将来 PI になるとしたら、このような Management skill が大事になるのかなと思ったりもしました。

研究プロジェクトのロゴを作るという貴重な(?)経験もしました。最終的に完成度を上げてくれたプロのデザイナーさんに感謝です。



また、ありがたいことに、Ph.D.のこれまでの研究は多くの反響があったようで、様々な企業から、invited talk やインターンシップのお誘いを受けることが多くなりました。これまでは、あまりモテ期がなかったので、突然のモテ期に困惑していますが、Ph.D.の研究が評価されていることに素直に嬉しく思います。ボスが世界的な大物であるのも、かなり関係していると思います。

### 3. インターンシップ

上に述べた縁もあり、この夏は Menlo Park, CA にある Facebook AI Research で研究インターンシップをすることになりました(Work From Home ですが)。かなりの大御所メンターの方から連絡がきて、さらに、プロジェクトも僕の Ph.D.の研究とマッチしていたので、迷わずに Facebook でのインターンを決めました。右の写真は、2 年前に Campus visit の時に Facebook で撮った写真です。時間が過ぎるのは本当に早いです。夏のインターンシップは、3 ヶ月しかないのに、かなりタフになるとは思いますが、良い研究結果が残せるように全力で頑張りたいです。



### 4. おわりに

留学してから、あっという間に 2 年近くが過ぎようとしています。非常に実りのある留学・研究生生活を送ることができていると思います。船井財団には、いつもサポートしていただき、本当に感謝しております。今後もより実りのあるものとなるように頑張っていきたいです。